

全国有力100社  
アンケート調査

# 「横ばい」が全体の6割超える 次点は26%で「やや弱気」

12月の鉄スクラップ相場動向

弊紙実施の100社アンケート「12月の相場動向」の結果がまとまった。全体で見ると、「横ばい」が61%で最も多く、全体の6割以上を占めた。国内市況が11月後半から膠着状態にあること、先行きの具体的な判断材料に乏しいことなどが回答にも影響していると見られる。次に多かったのは「やや弱気」の26%。なお「弱気」は2%だった。一方、「やや強気」は10%、「強気」は1%で、両者を合わせた強基調の回答は11%と少なかった。

◆業種別～いずれも「横ばい」が大多数。商社・シッパーは「やや強気」が2番目に。

業種別に見ても、いずれも「横ばい」が最も多かった。その中において、商社・シッパーでは、「やや強気」が15%を占め、トップの「横ばい」の77%に次いで2番目に多かった。3番目は「やや弱気」で8%だった。電炉メーカーは「横ばい」が69%で他を圧倒した。次いで「やや弱気」が25%、「やや強気」が6%と続いた。市中業者は、「横ばい」が56%でトップとなった。次に多かったのは「やや弱気」で29%を占めた。「弱気」は3%だった。強基調の回答は少なく、「やや強気」は10%、「強気」は2%にとどまった。

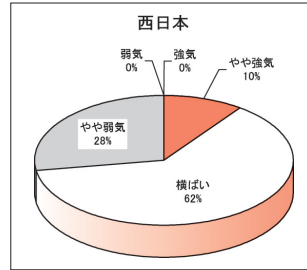
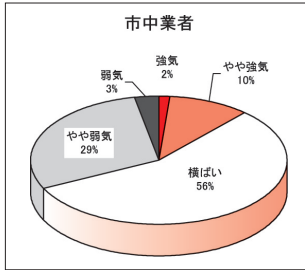
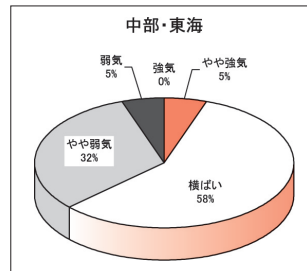
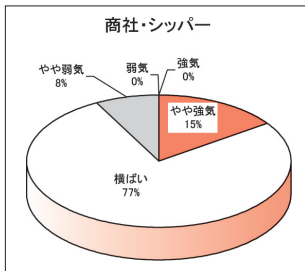
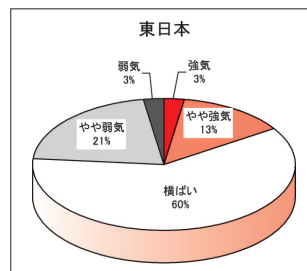
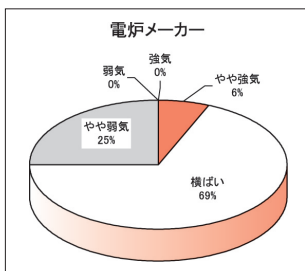
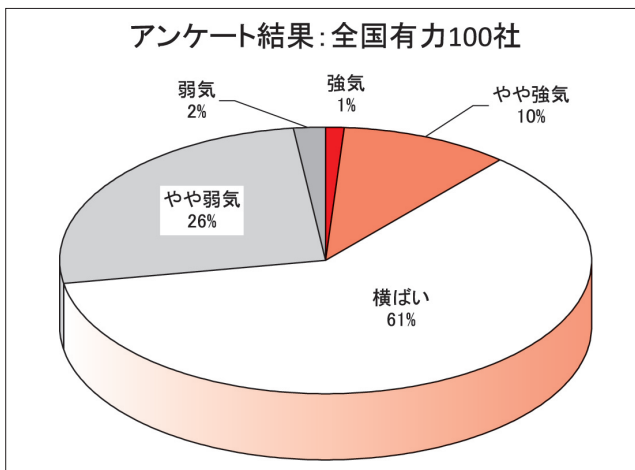
◆地域別～各地域とも「横ばい」がトップ。

地域別で見ると、東日本・中部東海・西日本ともに「横ばい」が最も多く、割合もいずれも60%前後に並ぶ結果になった。2番目も各地域とも「やや弱気」となった。特に中部東海では、「やや弱気」の割合が32%と、他の地域よりも多かった。

<個別コメント(一部)>

▼今後、トルコ・韓国が1～2月の玉確保に動かなければならず、また中国が旧正月前の玉確保に動くことが予想され、月後半から年明けにかけて強含みで推移するのではないかと。▼電炉の積極購入量は一部に限られていること、輸出市場は下落基調にあること、鉄鋼製

品価格の12月価格が据え置き発表であったことから、やや弱気の見通し。▼円安で日本屑が割安となっている。▼今後の輸出マーケット動向次第。



**Innovation for further growth**  
製鋼原料卸・計量証明事業

株式会社 **ミヤザキ・メタルサービス**

MIYAZAKI <http://www.miyazaki-metal.com>

本社 大阪府淀川区三国本町1丁目17-19  
TEL(06)6393-8401(代) FAX(06)6399-0313  
ISO14001認証取得

野中工場 大阪府淀川区野中北通1-1  
TEL(06)6393-8027

三重支店 三重県伊賀市予野4938-120  
TEL(0595)20-1601 FAX(0595)20-1602  
ISO14001認証取得

エコ・リサイクルラボ 三重県伊賀市予野4949-15

【全国有力100社アンケート調査概要】  
 ■回答方法:12月の鉄スクラップについて「強気」「やや強気」「横ばい」「やや弱気」「弱気」から選択回答  
 ■対象:100社(業種別:メーカー12社、商社・シッパー16社、市中業者72社)(地域別:東日本40社、中部・東海20社、西日本40社) ■調査期間:11月28日～12月7日 ■回答率:97.0%(東日本95.0%、中部・東海95.0%、西日本100.0%)